



星和電機株式会社

<http://www.seiwa.co.jp/>
京都府城陽市寺田新池36番地
TEL: 0774-55-8181

経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、
社会に貢献する。

株主のみなさまへ	1
事業別の概況(連結)	3
トピックス	5
財務の状況(連結)	7
会社概要	9
株主メモ	10

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて当社グループ第67期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申しあげます。

当第2四半期におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う消費の落ち込みはあったものの、企業業績の回復や雇用環境の改善がみられ、公共投資の継続も下支えとなり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安による原材料価格の上昇、海外経済の下振れ懸念などの影響もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループにおきましては、販売力とものづくり力の強化に向けて、ソリューション営業を通じた顧客満足の向上と市場ニーズに対応した製品企画・開発の促進に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は73億54百万円(前年同期比2.5%減)、経常損失は5億37百万円(前年

同期は7億71百万円の経常損失)、四半期純損失は2億94百万円(前年同期は5億30百万円の四半期純損失)となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますので、ご了承のほどお願い申しあげます。

今後の見通しにつきましては、政府の経済対策により景気は下支えされ、企業業績の改善から設備投資も堅調に推移することが期待されますが、円安による物価上昇に加え、海外景気の下振れ懸念等、依然として先行きは不透明な状況が続くと予想されます。このような状況下、コスト競争力の強化に努め、業務改革の推進により生産性の向上を図り、利益の確保に取り組んでまいります。

さらに、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

特に照明事業の分野では、従来型照明からLED照明への切り替え需要が拡大しています。照明機器事業では、市場ニ-

ーズに対応する製品開発を行い、産業用照明器具、道路・トンネル照明器具のLED化をさらに進めてまいります。情報機器事業、コンポーネント事業では、新たな付加価値の提供と顧客のニーズに対応する製品開発や提案営業の取り組みを行ってまいります。

また、ひきつづき全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。

平成26年12月

取締役社長

増山晃章



事業別の概況(連結)

情報機器事業

27億57百万円(前年同期比 5.7%増)

主要製品

- 情報表示システム
- トンネル防災システム
- LED式信号機

この事業の主力製品であります道路情報機器において、高速道路向けの売上が前年同期に比べ増加しました。



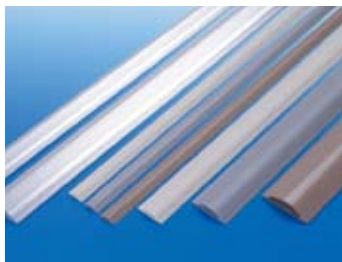
コンポーネント事業

25億2百万円(前年同期比 0.9%増)

主要製品

- 配線保護機材
- 配管保護機材
- 電磁波環境部品

配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は堅調に推移しましたが、エアコン用の配管保護機材は消費税増税後の影響を受けて低調に推移しました。また、電磁波環境部品はデジタル関連市場向けを中心に増加しました。



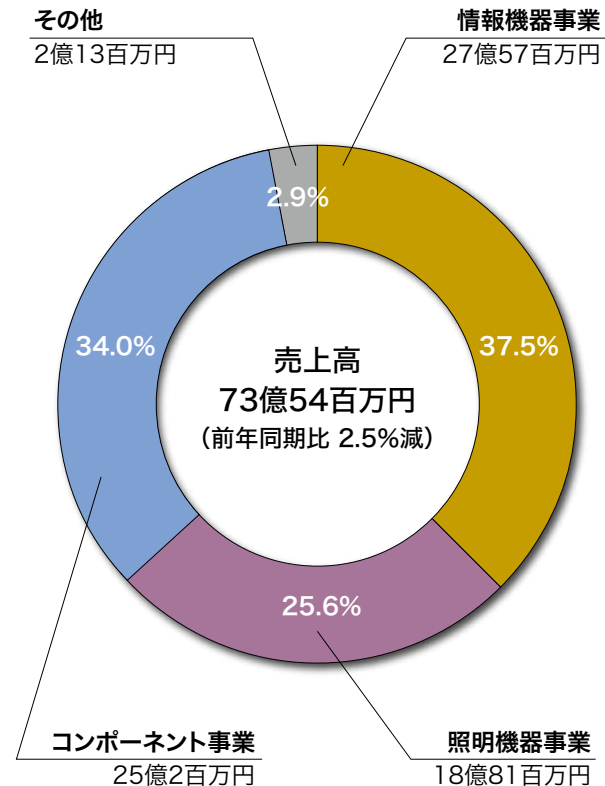
照明機器事業

18億81百万円(前年同期比 19.5%減)

主要製品

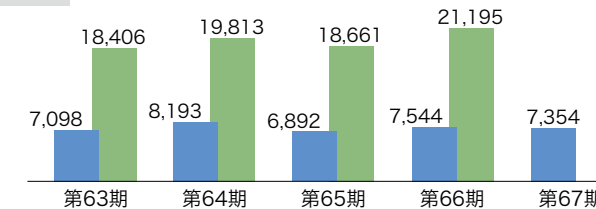
- 照明器具
- 制御機器
- LEDモジュール製品

民間設備投資関連の産業用照明器具は、LED照明器具が堅調に推移しましたが、従来型照明器具はLED化の動きによる需要の減少を受けて低調に推移しました。また、公共投資関連の道路・トンネル照明器具においては、トンネル照明器具の売上が前年同期に比べ減少しました。

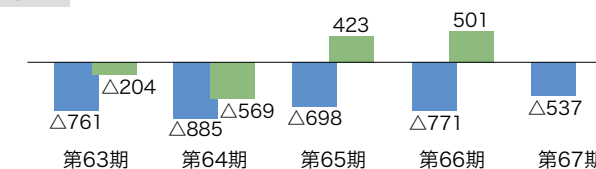


財務ハイライト(連結)

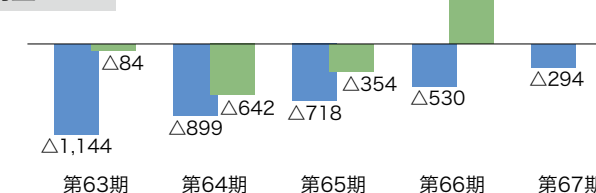
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



事務所長表彰を受賞

公共事業で名誉ある受賞

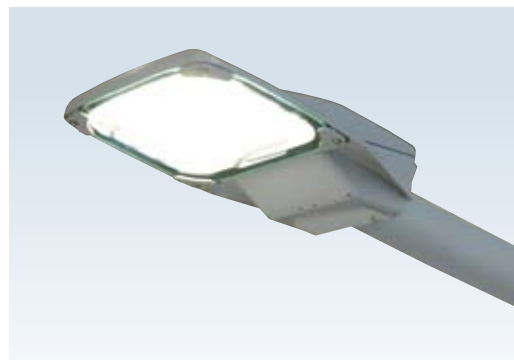
近畿地方整備局奈良国道事務所の「国道25号他道路情報板改良工事」、東北地方整備局南三陸国道事務所の「高田道路道路付属設備設置工事」、東北地方整備局仙台河川国道事務所の「管内道路情報板設置工事」の3件の事務所長表彰を受賞いたしました。また、無事故・無災害や安定した品質と丁寧な施工内容が評価され、優秀賞・無災害記録賞も受賞できました。今後も継続して、技術の研鑽を行ってまいります。



LED構内道路用照明器具を発売

デルガミニ～DELGA-mini～に水銀灯300～400W相当品をラインナップ

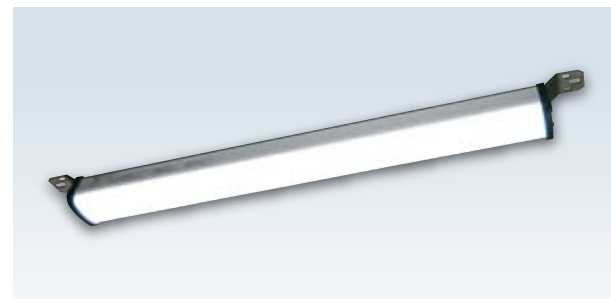
デルガミニ～DELGA-mini～シリーズにWFLA089を新たに加え、従来品と合わせ水銀灯100W～400W相当品をラインナップしました。また、既設ポールへの取り付けが容易に行える新開発のポールサイズ変換アダプタを搭載しました。(φ34・φ48.6・φ60.5対応) さらに、初期光束補正機能により余分な明るさをカットして省エネ点灯および長寿命(光源寿命: 60,000時間)を実現しています。



防水形LED灯器具～LYWA シリーズ～を発売

軽量・コンパクトな防水形LED灯器具をリリース

施工性の向上を図るため、筐体にポリカーボネイトを採用し、軽量化を実現しました。FHF32形高出力×2灯相当の明るさで、前面のカバーはグレア(眩しさ)対策が施されています。器具寿命(光源、電源含む)は60,000時間となっており、長期メンテナンスフリーで維持・補修コストが削減できます。



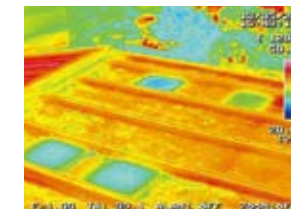
新製品 スターチルドS遮熱塗料 E18X-S150

耐候性に優れた遮熱塗料を開発

太陽光(赤外線)を反射することで、塗ったものの温度上昇を抑えることができます。例えば、屋外で電子機器が入ったボックスなどに使用し、熱に弱い部品の寿命向上に寄与します。耐候性に優れており、屋外での使用に適しています。



遮熱塗料塗布例：白色部分



サーモグラフィー画像：塗布部分は低温度を示す青色

財務の状況(連結)

連結貸借対照表

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期末 平成25年9月30日現在	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	11,162	11,970	15,031
固定資産	6,375	6,501	6,357
有形固定資産	3,213	3,101	3,142
無形固定資産	292	312	325
投資その他の資産	2,869	3,088	2,889
資産合計	17,537	18,471	21,389
【負債の部】			
流動負債	8,208	7,489	9,783
固定負債	2,154	2,647	3,069
負債合計	10,362	10,136	12,853
【純資産の部】			
株主資本	6,585	7,457	7,734
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	△209	663	939
自己株式	△199	△200	△199
その他の包括利益累計額	490	795	701
少数株主持分	98	82	99
純資産合計	7,174	8,334	8,535
負債・純資産合計	17,537	18,471	21,389

連結損益計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	7,544	7,354	21,195
売上原価	6,693	6,225	17,382
売上総利益	851	1,128	3,812
販売費及び一般管理費	1,600	1,653	3,276
営業利益又は営業損失(△)	△748	△525	536
営業外収益	65	87	154
営業外費用	88	99	189
経常利益又は経常損失(△)	△771	△537	501
特別利益	11	91	48
特別損失	14	73	28
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△774	△519	521
法人税、住民税及び事業税	12	17	33
法人税等調整額	△257	△240	△133
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△530	△296	621
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△1	1
当期純利益又は四半期純損失(△)	△530	△294	619

連結キャッシュ・フロー計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,174	1,036	870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364	△4	△340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,518	△1,737	△550
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	5	40
現金及び現金同等物の増減額	317	△700	20
現金及び現金同等物の期首残高	2,353	2,373	2,353
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	—	△0
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,671	1,672	2,373

会社概要

会社の概況(平成26年9月30日現在)

商号 星和電機株式会社
 英文名 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 創業 昭和20年10月1日
 資本金 33億80百万円

事業所

本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1
 東京支社 東京都千代田区神田美土代町3番地3
 中部支社 名古屋市東区泉一丁目21番15号
 関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号
 営業所 東北(宮城県)・新潟・京都・高松・
 広島・福岡

役員(平成26年12月1日現在)

取締役社長(代表取締役) 増山晃章
 専務取締役 愛知後秀作
 取締役 正林啓志
 取締役 望月友彦
 取締役 乾勝典
 監査役(常勤) 佐野廣一
 監査役 中野淑夫
 監査役 益満清輝

※監査役のうち中野淑夫および益満清輝は社外監査役であります。

執行役員(平成26年12月1日現在)

執行役員 八木舜
 執行役員 古田雅也
 執行役員 竹之内光彦
 執行役員 小林浩幸
 執行役員 春山雅彦
 執行役員 宮下雅良
 執行役員 成平幸弘
 執行役員 寺垣敬司

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会 3月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)

期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 単元株式数 1,000株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

公告方法 当社のホームページ(<http://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

お問い合わせ先

	証券会社等の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	